

事 務 連 絡
令和8年8月3日

加盟団体担当者
及び 選手関係各位

公益財団法人 全日本スキー・スノーボード連盟
アルペン委員長 押 切 敬 司

南半球版 FIS ルール改正に伴う FIS 公認および SAJ 公認アルペン競技会に
おける耐切創性アンダーウェアの着用義務化等について（お知らせ）

謹啓 猛暑お見舞い申し上げます。日頃より全日本スキー・スノーボード連盟（以後 SAJ）
の諸事業にご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、2025 年 6 月 12 日～13 日及び 2026 年 6 月 10 日に開催さ
れた FIS 理事会により承認された南半球版 FIS ルール改正に伴い、日本国内で開催される
すべての FIS アルペン競技会において、耐切創性アンダーウェアパンツ（タイツ）の着用が
義務化されるとともに、耐切創性シャツまたはフルスーツの着用も強く推奨されることと
なりました。

この改正を受け本連盟アルペン委員会で協議した結果、SAJ 公認アルペン競技会での耐切
創性アンダーウェアパンツ（タイツ）の着用は、2026/2027 シーズンは「強く推奨する」に
とどめ、状況を見ながら着用義務化について判断していくこととします。

また、アルペン高速系種目におけるエアバックプロテクターの使用は、昨シーズンまでレ
ースレベル 1 の中でノースアメリカカップ、ファーイーストカップ、世界ジュニア選手権で
の着用は除外され「強く推奨する」ととどまっていたましたが、この度の改正により例外措置
が解除されレースレベル 0 及び 1 で義務化されました。

貴団体関係者へご周知いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

参考：上記内容を含むルール改正の詳細は、下記によりご確認ください。

- (1) 南半球版 FIS ルール（2026.7.8 版）
https://assets.fis-ski.com/f/252177/x/1e8f112053/precisions-southern-hemisphere_08-07-2026.pdf
- (2) FIS 理事会議事録概要 2025 年 6 月 12 日～13 日
https://assets.fis-ski.com/f/252177/x/1ac1db90b1/2025_06_12-13_fiscouncilsummaryminutes.pdf
- (3) FIS 理事会議事録概要 2026 年 6 月 10 日
https://assets.fis-ski.com/f/252177/x/abb962ed8c/fis_council_summaryminutes_2026_06_10.pdf
※それぞれ FIS ホームページ掲載資料へ遷移します。

○耐切創性アンダーウェア (Cut resistant undergarment) に関する (2) FIS 理事会議事録概要 2026 年 6 月 10 日からの抜粋

3.5.3.4 耐切創性アンダーウェアの導入

新	旧
耐切創性アンダーウェアパンツ (タイツ) の使用は、 <u>すべての FIS アルペンスキーイベントにおいて義務付けられる。義務化された導入においては、腸骨稜 (骨盤の上のライン) からスキーブーツの履き口までの間のすべての場所で、FIS-DITF テスト基準に従った最小 3 つ星の保護レベルが必要となる。耐切創性シャツまたはフルスーツの使用も強く推奨される。</u>	耐切創性アンダーウェアの使用は、すべてのレベルのすべての種目イベントで強く推奨される。耐切創性アンダーウェアパンツ (タイツ) の使用は、2025/2026 シーズン以降、カテゴリーレースレベル 0 および 1 のすべての FIS アルペンスキーイベントにおいて義務付けられる。義務化された導入においては、腸骨稜 (骨盤の上のライン) からスキーブーツの履き口までの間のすべての場所で、FIS-DITF テスト基準に従った最小 3 つ星の保護レベルが必要となる。耐切創性シャツまたはフルスーツの使用も強く推奨される。

○エアバッグ技術を搭載したプロテクター (Protector with airbag technology) に関する (2) FIS 理事会議事録概要 2026 年 6 月 10 日からの抜粋

3.5.2.4

新	旧
アルペン高速系種目におけるエアバッグプロテクターの使用は、以下のように決定される： エアバッグシステムは、レースレベル 0 および 1 で義務化される。 FIS の用具仕様およびサプライヤーの安全基準 (製品説明) への適合および遵守は、以下に示す適合ラベルによって証明されなければならない。取り外し不可能なラベルは、エアバッグプロテクターの外側、背中の中央、プロテクターの上端から 1cm 下に配置されなければならない。適合ラベルには次のテキストを含めるものとする：「Conforms to FIS Specifications AIRBAG 2024」。ラベルは最小 20mm×30mm (幅×高さ) のサイズを示さなければならず、競技または公式トレーニングの開始前にアクセス可能 (確認可能) でなければならない。 <u>義務付けられた競技における高速系種目の競技および公式トレーニング中に作動可能なエアバッグプロテクターを着用していないアスリートは、スタートを許可されないか、失格となる (ICR 第 627.2 条)。</u>	アルペン高速系種目におけるエアバッグプロテクターの使用は、以下のように決定される： エアバッグシステムは、2025/2026 シーズン (2025 年 10 月 15 日開始) から、レースレベル 0 および 1 で義務化される (ただし、強く推奨されるノルアムカップ、フューイーニーストカップ、世界ジュニア選手権を除く)。 FIS の用具仕様およびサプライヤーの安全基準 (製品説明) への適合および遵守は、以下に示す適合ラベルによって証明されなければならない。取り外し不可能なラベルは、エアバッグプロテクターの外側、背中の中央、プロテクターの上端から 1cm 下に配置されなければならない。適合ラベルには次のテキストを含めるものとする：「Conforms to FIS Specifications AIRBAG 2024」。ラベルは最小 20mm×30mm (幅×高さ) のサイズを示さなければならず、競技または公式トレーニングの開始前にアクセス可能 (確認可能) でなければならない。2025/2026 シーズン中、義務付けられた競技における高速系種目の競技および公式トレーニング中に作動可能なエアバッグプロテクターを着用していないアスリートは、スタートを許可されないか、失格となる (ICR 第 627.2 条)。

※レースレベル 0 :

オリンピック (OWG)、世界選手権 (WSC)、ワールドカップ (WC)、ワールドカップスピードイベント (COM)、ワールドカップクオリフィケーション (WQUA)

※レースレベル 1 :

オーストラリアニュージーランドカップ (ANC)、ヨーロッパカップ (EC)、ヨーロッパカップスピードイベント (ECOM)、ファーイーストカップ (FEC)、ノースアメリカカップ (NAC)、サウスアメリカカップ (SAC)、ユニバーシアド (UVS)、ジュニア世界選手権 (WJC)、ヨーロッパカップクオリフィケーション (EQUA)

以上

【問い合わせ】

(公財) 全日本スキー・スノーボード連盟
アルペン委員会 TD ルール公認小委員会
小委員長 河野 周平

E-mail : shuheik@nozawaonsen.co.jp